

2022 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | | |
|---|-------------|-----------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------|---------------|
| 学 科 | 臨床工学技士学科 | | 科 目 区 分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
| 科 目 名 | 形態機能学Ⅲ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 1年次 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | 403 |
| 担 当 教 員 | 専任教員 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| <p>《授業科目における学習内容》</p> <p>この科目では、環境の変化にすばやく反応する機能として、筋の収縮による運動機能、思考や記憶を司る中枢神経機能を学習する。人体の構造と機能を有機的に繋ぎ、系統的に各器官の位置関係、形状、内部構造を学び、あわせて各器官の機能、人体における役割を学んでいく。1.体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく理解する。2.からだの機能を構造に結びつけて理解する。3.からだの正常な機能と構造から、異常となるメカニズムを推測できる。</p> | | | | | | |
| <p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>筆記試験(100点)で評価する。</p> | | | | | | |
| <p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>【教科書】「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 【副読本】「系統看護学講座準拠 解剖生理学ワークブック」医学書院</p> | | | | | | |
| <p>《授業外における学習方法》</p> <p>講義のノートまとめ(図も記載)、プリント課題</p> | | | | | | |
| <p>《履修に当たっての留意点》</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 神経膠・神経細胞について理解でき、説明できる。 | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 | いずれも毎回提出 |
| | 各コマにおける授業予定 | 1. 神経組織:その構造と機能 1) 神経膠 2) 神経細胞 | | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 大脳・小脳・間脳・脳幹の構造と機能について説明できる | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 | いずれも毎回提出 |
| | 各コマにおける授業予定 | 大脳の構造・大脳皮質の機能局在・小脳・間脳・脳幹の構造と機能 | | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 髄膜と脳脊髄液・脳への血液供給・血液脳関門の構造と機能について説明できる | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 | いずれも毎回提出 |
| | 各コマにおける授業予定 | 髄膜と脳脊髄液・脳への血液供給・血液脳関門の構造と機能 | | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 脳12神経の構造と機能について説明できる | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 | いずれも毎回提出 |
| | 各コマにおける授業予定 | 脳12神経の構造と機能① | | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 脳12神経の構造と機能について説明できる | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 | いずれも毎回提出 |
| | 各コマにおける授業予定 | 脳12神経の構造と機能② | | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|--|-----------------------------|---|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 脊髄神経の構造と機能について説明できる | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | <ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 脊髄神経の構造と機能① | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 脊髄神経の構造と機能について説明できる | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | <ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 脊髄神経の構造と機能② | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 自律神経について説明できる | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | <ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 自律神経の構造と機能① | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 自律神経について説明できる | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | <ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 自律神経の構造と機能② | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 骨の機能・分類・長骨の機能・骨の形成、成長、および改造について理解でき、説明できる。 | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | <ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 1. 骨の機能・分類・長骨の機能 1) 骨の形成、成長、および改造 | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 体幹の骨格について理解でき、説明できる。 | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | <ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 2. 体幹の骨格 | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 体肢の骨格について理解でき、説明できる。 | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | <ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 3. 体肢の骨格 | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 関節について、骨格系の発生・発達・老化について理解でき、説明できる。 | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | <ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 4. 関節 5. 骨格系の発生・発達・老化 | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 筋肉の構造・分類・機能について理解でき、説明できる。 | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | <ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 6. 筋肉の構造・分類・機能 | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 骨格筋の呼称・骨格筋の肉眼的解剖学について理解でき、説明できる。 | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | <ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 7. 骨格筋の呼称 8. 骨格筋の肉眼的解剖学 | | |